

西砂小だより



立川市立西砂小学校
立川市西砂町 2-34-2
学校通信 第8号
平成 28年 10月 27日

Tachikawa Nishisuna Elementary School (School News)

電話 531-2082 FAX 531-5269 HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es12>

創立五十周年式典、ありがとうございました。

校長 内野 康之

10月15日(土)、快晴の空の下、西砂小学校創立50周年記念式典・祝賀会が行われました。式典には5・6年生が参列しました。

この学校便りをご覧になっている方々の中には(保護者の皆さんの多くは)式典・祝賀会に参列できなかった方も多いと思います。式典を時系列で振り返ります。

・**オープニングイベント**：6年生有志による和太鼓演奏「三宅太鼓」。勇壮な三宅太鼓の音が体育館の舞台から響き渡ります。参列されていた方々からは、式典終了後、「太鼓が良かった！」との声をいただきました。ちなみに、2度にわたり太鼓演奏の指導助言をしてくださったのは、「東京学芸大学の太鼓サークル『結(ゆい)』のみなさん」でした。(東京学芸大学と立川市は今年度、「協働」しています。今回は、その協働の一環でした。10月22日の学校公開の折には、6年生の保護者とともに、指導してくださった「結」の学生さんをお招きして、演奏を聴いていただきました。)そして、その後1ヶ月以上にわたり毎朝と放課後に指導したのは、6年の担任でした。この太鼓演奏を始め、周年の様々な取り組みについて、黒子に徹した担任の陰の支えがあったからこそ、子供たちが輝いたということは特筆させていただきたいと思います。



6年生有志によるオープニング、「三宅太鼓」。力強い太鼓の波動で、体育館が震えました。

・**校長式辞**：私は、木の板を抱えて登壇しました。子供たちは「いったい何を持っているのだろう。」と思ったことでしょうか。実はこの板には、「西砂川小学校分校」と書かれていました。そうです。分校時代の校門にかかっていたであろう、学校名表示(看板)です。私は式典当日に突如、この学校名看板を舞台に持ち込むことを思いつきました。

ところが、急に思いついたので、用意してあった式辞原稿には、このことを書いていませんでした。そのため、私は学校の看板の紹介をせずに話を終えようと思いました。

ところが、降壇しようとしたとき、子供たちの顔が目にとまりました。子供たちは「あれ?あの板は?」という表情だったため、私ははっと気づき、慌てて紹介したのです。案の定子供たちは、北校舎1階のショーウィンドーに長らく飾ってあった、分校の看板の存在を知りませんでした。良かった。「分校の歴史あつての西砂小の歴史」ですから、紹介できたことは望外の喜びでした。(式典後参列していた皆さんから「校長先生、あれは話にインパクトを持たせるため、わざと忘れて最後に紹介したのでしょうか?」と言われました。そうであればカッコいいのですが、実は本当に忘れていたのです。)

・**祝辞**：小町教育長、清水市長、伊藤市議会議員からお祝いのお言葉をいただきました。その中で清水市長は、子供たちの大先輩。というのも市長は西砂小学校が第九小学校から独立する前の、分校時代の卒業生なのです。今回の市長のお祝いの言葉には、分校時代の思い出とともに、自分の後輩である子供たちへの愛情がたっぷり込められていました。原稿なしで語る言葉は、子供たちに染み入っていきました。

・**記念品贈呈**：立川市より周年の記念誌、周年実行委員会より和太鼓2台、PTAより屋上の学校名表示と周年の横断幕と下敷きをいただきました。後々まで残る素晴らしい記念品です。

・**5年生からのお祝いパフォーマンス**：周年をお祝いして、学年全体で群読「祭り」を披露してくれました。おそろいの黒の衣装を身に付け、精一杯の声で群読をしました。参列していた皆さんからは「どの子も声がしっかり後ろまで届いていた。」「かっこよかった。」という高評価をいただきました。

下：5年生全員による群読、「祭り」



下：6年生全員による呼びかけ「西砂小の歴史」と合唱



・**6年生からのお祝いパフォーマンス**：西砂小学校と西砂川地域の歴史を呼びかけにして、合唱も織り交ぜて、発表しました。参列していた方々から「6年生の歌声に感動した。」「西砂小学校の歴史をしっかり踏まえて、素晴らしい発表だった。」との賛辞が寄せられました。

・**合唱曲「未来へ向かって」**：5・6年生が、周年のお祝いの歌「未来へ向かって」を歌い上げました。伴奏は西砂小学校の吹奏楽部です。その美しい歌声とダイナミックな吹奏楽部の演奏に、「みんながきれいな声で歌っていたのがすごいですね。」と賞賛の言葉が集まりました。さらには、この合唱曲が子供たちの手作りであることに驚きの声が上がっていました。「未来へ向かって」は、全校児童から言葉を集め、6年生がそれらをもとに歌詞を作り、さらには音楽好きの6年生有志が作曲までしたのです。もちろん、先生方の指導助言もあったのですが、子供たちの手作りであることには変わりはありません。さらに特筆すべきは、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団の存在」です。音楽専科とやりとりをしながら、神奈川フィルハーモニー管弦楽団が編曲してくださったのです。今回国の事業に申し込んでいたところ、幸運にも「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」の事業に当選したのです。その事業の一環として、神奈川フィルが「未来へ向かって」の編曲を請け負ってくださり、なんと先月の20日には、ワークショップを開催してくださったのです。(これが実に面白かった!)さらには、来月の8日には本公演としてフルオーケストラが西砂小学校に来校し、体育館で本物の演奏を披露してくれるのです!

5・6年生の合唱「未来へ向かって」



◎式典・祝賀会を通して参列していた皆さんから褒め称えられたのは、上記以外には以下の3つです。
①1時間あまりの式典の間、背筋を伸ばして着席しているなど、儀式に臨む態度が大変良かったことを褒められました。
②祝賀会のオープニングイベントで、地域の2団体がお囃子で共演しました。その際、面をつけて踊ったのは本校の児童でした。大人顔負けのその所作に賛辞が寄せられました。

③子供たちの活躍とともに、参列されていた方々の賛辞で共通していたのが「保護者・地域の力がすごい!」でした。駅から学校までの案内、駐車場での誘導、校内での案内等々。見えないところでも、保護者・地域の方々の力がありました。学校・保護者・地域が連携・協働した創立50周年記念式典・祝賀会でした。

最後に、この場をお借りし、式典・祝賀会を成功に導いてくださった保護者・地域の皆様、そして式典に参列され、厳粛かつ温かな儀式的雰囲気を創り出してくださった皆様に感謝いたします。

さて、式典後の全校朝会で、私は子供たちにこう話しました。「・・・『成功して良かったね。』で終わってしまってもはいけません。成功したら、その成功を次の学習、次の行事につなげるのです。次の行事は学芸会。50周年の取り組みの成功で学んだ『練習を積み重ねる』、『みんなの力で成功させよう、と願う』、『簡単に満足しないで、少しでも良いものを創っていかようとする』を学芸会でも見せてください。」

その取り組みはもう始まっています。